

## 令和2年度 第1回高島町新庁舎建設検討委員会 会議録

【日 時】 令和2年6月9日（火） 午後3時～午後5時

【場 所】 高島町健康管理施設 げんき館 多目的研修室

【出席者】（委員）宮原博通委員、白石信也委員、斎藤洋子委員、後藤昭委員、我妻里奈委員

西方茂太委員、平崇委員、増田陽子委員、渋谷保委員

（町） 町長、企画財政課長、企画財政課長補佐、新庁舎建設推進室長、庁舎建設係長、  
公共事業整備専門員

### 【会議録】

#### 1. 開会 15時

司会（事務局）による開会

#### 2. 委嘱書交付

町長より9名の委員に対し、委嘱書を交付

#### 3. 町長あいさつ

皆様には新型コロナウイルス対策関連において、たいへんご不便な生活を強いられていると思っている。町としては、国、県と連携して、皆様の生活が一日も早く元どおりとなるように様々な対策を行っている。自粛やいろんな制約があるが、ご理解をいただきたい。

そのような中で、たいへんお忙しい中、本日は第1回新庁舎建設検討委員会に出席をいただいた。

多忙なスケジュールのなか、委嘱を申し上げたところ、快くお引き受けいただいた。あらためて感謝と御礼を申し上げます。

本委員会についてであるが、建設から52年が経過した現在の役場庁舎を、安全で安心な町民に親しまれる新庁舎に建て替えるべく、町民の代表として建設基本計画にご意見をいただきながら、検討をいただく組織となっている。

検討委員には各分野で活躍をいただいている皆様に依頼をさせていただいた。

当町の役場庁舎については、経年劣化や施設の老朽化による不具合が著しい状況となっている。また、耐震化もなされていないため、大地震などの大規模災害時に防災の拠点としての十分に果たすことができない状況でもある。今後人口減少、少子高齢化が進展していく中で、当町においても町民の安全安心を図りながら、環境に配慮した誰もが利用しやすい新庁舎の建設を目指していく必要がある。

これからの役場庁舎には、第6次高島町総合計画で定める「一人ひとりが幸せになるまちづくり」を進めていく拠点としての役割がますます求められていくものと考えている。

委員の皆様には、今後50年以上にわたって利用される役場新庁舎の建設基本計画策定にぜひお力添えを賜り、今後委員会の中で新庁舎建設を推進するための貴重なご意見ご提言を賜ることをご期待申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

#### 4. 委員の自己紹介と事務局員紹介

先に企画財政課長より事務局員の紹介、続いて検討委員の自己紹介。事務局から今年度より新庁舎建設推進室が設置された旨を説明。

#### 5. 正副委員長の選任について

委員長は互選により選出することになっているが、立候補者がいないため、事務局案として1号委員の宮原博通氏を提案、全員賛成で承認。

町長、公務により中座

#### 6. 議事

宮原委員長が座長席に移動。 宮原委員長より白石信也委員を副委員長に指名

##### (委員長あいさつ)

高島町新庁舎建設検討委員会に参加することをたいへん興味深く、また、自分の持てる力を発揮していきたいと思っている。

同時に、町民でもあることから庁舎建設が非常に楽しみであり、これからの時代に見合う庁舎が建設されればと思っている。社会環境も自然環境も大きく変化し、その新陳代謝も、ものすごくスピードが速くなっている。そういう中で、行政を司る新庁舎に求められる機能というのは、従来の機能だけでは済まなくなってくる時代だと感じている。そういうことから、これからの時代に必要となってくる防災においても、経済面においても、町民の健康に関わることにしても、行政が町民と協同という形をとって行動していかないと追いつかない時代だと思っている。そういった機能をも踏まえた新庁舎を作り上げていくことに向かっていかななくてはならない。委員の皆様には忌憚のないご意見を期待している。

##### (1) 会議の公開と傍聴について

###### (事務局)

事務局より配付資料の確認をした後、資料No.1-1, 1-2に基づき説明。

###### (委員長)

委員会として、この会議を公開していくことに異議はないか。

###### (全委員)

異議なし。

###### (委員長)

今後の会議は傍聴規程に則り公開していくこととする。

##### (2) 新庁舎建設検討委員会と新庁舎建設検討体制について

###### (事務局)

新庁舎建設検討委員会の設置根拠、委員構成、委員会の役割と目的、任期、今後のスケジュール、庁舎建設検討体制（全体）、開庁までのロードマップについて、資料No.2～No.8に基づき一括して説明。

###### (委員)

既にボーリング調査を依頼しているとのことだが、事務局の方で考えている新庁舎敷地はどこを想定しているか。町役場前なのか、それとも別の場所を考えているのか。

(事務局)

ボーリング調査はまだ発注していない。現在は、役場敷地と周辺の測量調査を発注している。建設場所についても、本日協議の(4)において大まかな建設予定地について申し上げる。建設予定地も今後検討いただく題材となっているので、それらが概ね検討され始めた頃、ボーリング調査の発注を計画している。10月頃の発注予定である。現在は素案の段階となるが現庁舎の南側職員駐車場の辺りを想定している。

(委員)

現在の役場庁舎は、水没する危険度の高いイエローゾーンに入っていると思うが、屋代川からの水位で氾濫したときに、敷地内がイエローゾーンに収まっている。新庁舎建設には、そういった災害の条件を加味なくてよいのか。

また、高島町全体の形態、それぞれの地区があり地域間の偏りがあると思うが、役場の位置というのは中心におくべきではないのかという持論がある。人口の密の高いところに偏っていくということも考慮できるのではないか。人口の密と、どの辺に建設するのかということを検討したのか。

(事務局)

災害の方から申し上げると、新しく示された浸水想定図では、現在の役場庁舎はイエローゾーン外となる。ただし、少し心配ではあるので、今の浸水想定図と測量データを比べ合わせて、本当に浸水想定区域外なのかの検討もしていきたいと考えている。必要があれば嵩上げ等も検討していきたい。

建設位置については、どこか別の場所に新たな土地を求めてまでは想定していない。高島中学校を建設した辺りが町の中心地となると思うが、現在の町の財政では、全く別のところに新たな土地を求めての建設は困難であり、併せて様々な調整が必要となってくるため、そこまでの想定はしないで素案を作成している。

(委員)

会議の傍聴を認めていくとのことであるが、傍聴される方がいた場合、会議の場所はどうか。

(事務局)

第2回会議以降も、げんき館の多目的研修室での開催を想定しているが、いろんな事情から場所が変更になる可能性もある。会議では傍聴席を設け、イス机等を設置したうえで傍聴してもらうことを想定している。

(委員長)

資料No.7の基本計画の1行目後半の箇所、「町が目指す理想の庁舎像を基本理念と定め」とあるが、理想の庁舎像とはどのようなものか。

(事務局)

このあと、協議の(4)で説明するが、高島町新庁舎建設基本計画素案の中で理想の庁舎像も示しているので、それを基に今後検討を進めてもらいたいと思っている。

### (3) これまでの検討経過について

昨年度の庁舎建設検討に係る経過について、プロジェクトチーム・ワーキンググループ、庁舎建設推進会議、議会特別委員会ごとに資料No.8に基づき時系列で説明。

(委員)

尾花沢市役所と白鷹町役場を視察したとあるが、基本計画素案についてもこの2つの事例が活かされているのか。

(事務局)

昨年12月に先進地視察として2市町を視察した。その中で、プロジェクトチームのメンバーが素案を策定するためのイメージを思い描けるような視察を行った。そのうえで素案を策定しているので、内容には視察を行った成果が一定程度活かされているものと考えている。

#### (4) 高島町新庁舎建設基本計画素案について

(事務局)

高島町新庁舎建設基本計画素案(資料No.9)について説明。

(委員)

現状の建物は危険との説明があったが、第3者に説明する場合には、具体的な数字を示すべきである。実際的には平成27～28年度に耐震診断をしていると思うが、その時のIs値があると思う。耐震診断はやっているのか。

(事務局)

耐震診断は実施していない。建て替えの検討を昨年の4月に開始したわけだが、耐震診断をすると専門の第三者機関への依頼が必要となり、その場合約1年かかる。そうなれば国の支援の期限には間に合わない。そこで国とも協議をして、その部分は該当要件ではないことを確認した。

素案を策定するうえでは、老朽化している現状や、いろいろな機能不全を前面に押し出しながら、改修して防災拠点施設として整備しなければ町民を守っていけない、そういう観点で建て替えをしたいという強い考えを持っているので、その点をご理解を願いたい。

(委員)

市町村役場機能緊急保全事業で国の方でそれでよいと言うならいいと思うが、古いから建て替えるという説明だけだと説得力に欠けるのではないかと思い、質問した。

周辺市町村をみると、耐震診断をやってそのデータを基に、震度いくら以上で倒壊するという診断書を添えて計画書を立案しているところがほとんどである。国庫補助でやるうえで問題ないということであれば差し支えないと思うが、文章の作り方とすれば説得力がないと思う。

(委員)

災害が発生した際に町民の皆さんが避難してきた場合、新庁舎には避難するような場所がこの平面図の中にあるのか。

(事務局)

中央公民館も併設したいと考えているので、災害時にはそちらの会議室などを使えると思うし、役場の会議室も使える。

(委員)

エネルギー棟というのがありますが、これは電力を創っているとか、省エネルギーの場所とかそういう所なのか

(事務局)

新庁舎は庁舎自体がコンパクトになる。そういう観点から、エネルギー棟については停電時における発電機の設置や今後は創エネルギー設備なども検討していくことになるので、蓄電池とか、そういう観点からエネルギー棟が必要ではないかとのことで計画したいと考えている。

(委員長)

エネルギー棟については今後技術的に検討していくとのことである。

(委員)

基本計画書の素案ということだが、どこの市町村の計画書を見ても中身は遜色ないと思うし、高島町としてどういう色づけをしていくのかが見えてこない。町としてどのように高島らしさを表現していくのか。

デザインには金をかけないとしているが、町のシンボルの一つとなる建築物だと思うので、「なんだこんなの作ってよ!」と言われたくない。やはり誇りに思えるような、子どもたちがこの町の役場ってすごいよねと言えりような、限られたお金だと思うが、そういう色づけをしてほしいと思うのだが。

(事務局)

委員のおっしゃるとおりだと思う。これはあくまでも素案であり、これから項目毎に検討を進めていくが、その中で詳細にわたって説明をしながら、委員の皆さんのご意見をいただいて反映をしていく。

更にはデザインとかそういう部分については、基本計画がまとまってから基本設計で発注をしていく。基本設計ができたなら、それを委員の皆さんに説明しながら意見をいただいて基本設計を固めて実施設計に移るとことになる。先程から特長も申し上げているが、他に誇れるようなということについては、町民の命を守る防災の拠点施設ということが第一点、その他ZEBという皆さん聞き慣れない言葉だと思うが、省エネルギー創エネルギーをしながらエネルギーをゼロベースにもっていく将来に向けたゼロベースのエネルギー化を目指した建物。これはなかなか県内にはないわけだが、そういうものを特長として位置付けながら新しい庁舎を作っていきたいというのが町の考えである。

(委員長)

基本計画素案の12ページに基本理念と基本方針があって、基本方針4の「地球環境にやさしい庁舎」といってもいろいろなアプローチがあるわけで、これをこれから設計に反映すべく何を高島は目指しているのかがこういうところにも現れてくるだろうと思うし、基本方針でうたっていることを斬新的に反映すべくこれから基本設計を作り込んでいくための与条件になるのだと思う。

基本設計・実施設計を作る前のステップ、条件をいかに作るかが大事であり、それを実現するためにも基本理念、基本方針がたいへん重要になってくる。今後建設基本計画が出来上がっていく中で、これが一つのフィルターとなって、これをもとに町民に親しまれるのか、温かみのある庁舎かという新庁舎を建設していくうえでの大きなチェックシートの大項目と捉えればよいのではないかと。

(委員)

基本方針の中で「町民に親しまれる温かみのある庁舎」と書いていただいているが、この委員会を含め他の委員会にも出席している人は、いわゆる大人ばかりである。町民に親しまれるという意味においては、子どもも町民であることに変わりはないので、例えばデザイン面とかで、子どもたちが関わったり、若者が計画づくりに入ってこれる何かがあるといい。

子どもたちはなかなか役場に来る機会がないので、町民アンケートもやっていただいているが、それ以外にも子どもたちから意見を募れる何かがあればいいと思う。

(委員長)

パブリックコメントにおいても、そういったものを吸い上げていくようなアプローチが必要ではないかと思う。

(委員)

庁舎建設基本計画素案について、新庁舎を建設するに当たって高島町としてどのようなものを目指していくのが非常に大事だと思う。例えば観光で食っていくとか、農業や商業でやっていくとか、工業を盛んにするとか、目指すところが大事だと思うので、それをお聞きしたいことがまず一点。

もう一つは、設計者選定の手法の話があったが、まだ決定ではないと思うが、コンペ方式を採用するかどうかはどうか。

(事務局)

ただ今の委員のご意見は、まちづくりで力を入れる点を基本理念に盛り込むことを言われたと解釈した。建設基本計画には上位計画である第6次総合計画の流れがあるため、建設にあたって何か一つに絞り込んでいくのはなかなか難しい。長く使う施設であり誰もが使う施設である。庁舎建設にその色を出すのは困難なので、内容がぼやけているように思えるが、高島町は環境に重きを置いており、カーボンマネージメントでも二酸化炭素40%の削減目標を立てている。

しかしながら、図書館を建てたり遊戯場を建てたりしているので、計画時よりも二酸化炭素排出量は逆に増えている。そのためにもここで引き締めて新庁舎建設でZEB事業なども行っていく。

業者選定については、基本計画をしっかりと策定することにより、コンペではなくプロポーザル方式、つまり提案方式にしていく。予算もあるので審査をしながら決めていきたい。そこで検討したことや近隣市町を視察して意見を頂戴し、最終的な審査をして決定をしていきたい。

(委員)

ユニバーサルデザインにしていくとのことだが、現在の庁舎と比較して新庁舎は千㎡ほど面積が少なくなるし、今までになかったエレベーターを設置などもして、それでもゆとりのある十分な町民スペースが確保できるのか。

また、今近隣市町村の庁舎では、外壁にも木材を使うところも増えてきているが、その中で高島町は鉄筋コンクリート造りで、内装に地場産木材を使うという風に考えているとのこと。その中で温かみのあると言われても、町民にピンとくるのかなと思う。

(事務局)

ユニバーサルデザインについてであるが、新庁舎の面積を現庁舎と比較すると、確かに減ることになるが、現庁舎に余剰なスペースがないかと言えばそうでもないので、そういった部分を見直すことで新庁舎の計画面積でのユニバーサルデザイン導入は十分可能であると考えている。

温かみある庁舎ということについては、確かに鉄筋コンクリートを予定しているが、導入可能な部分については町内産木材を活用するなどし、町民が温かみを感じる庁舎を検討していきたいと考えている。

(委員)

基本計画素案に新庁舎の建設イメージは正方形と長方形があるが、町営体育館はどうしていくのか。

(事務局)

お配りした資料の中に個別施設計画というものがある。その中で町の公共施設の年次整備計画を記載しているが、体育館は未定となっている。

先程来説明しているが新庁舎建設は国の有利な起債事業を財源として活用しようと考えている。起債事業は今年度中の設計発注を条件として期限が延長されたので、これを活用して新庁舎建設に取り組むことになったが、個別施設計画では5年ぐらい後に着手する計画だった。遊戯場と図書館の建設が終わったので、今後は老朽化が進んでいる小学校と地区公民館の建て替えを計画していたが、庁舎が前倒しになった。

体育館もいろんなスポーツ団体から建て替えの要望をいただいているが、もう少し現施設を使いたいと思っている。体育館は空調設備を完備したりアリーナ席を完備したりすると数十億の事業となるので、しばらくは改修で長寿命化を図りたい。個別施設計画も今年中に見直しを図る予定でいる。

(委員)

なぜ質問したかという、新庁舎の位置が動いて現庁舎と中央公民館が解体される話を聞いて、町営体育館の場所はどうかと。

子どものいる父親として、町内にはもっくるという施設があつて、町内外からも人が集まってすごく良い施設だと思っているが、外で遊ばせる公園的な施設がなくて、そういう施設を新庁舎の近くに作っていただければ、子どもや親の集まるスペースが作れるのではないかと思ひ質問した。新庁舎の面積が小さくなる分、周辺のスペースを有効活用できたら良いと思う。

また、基本理念にあつた町民と環境にやさしく、地球環境にやさしい庁舎というところで、SDGsとの関連性を教えてほしい。

(事務局)

SDGsは全体的なものなので、まだ基本計画の中には入れ込んでいないが、入れ込むのであれば環境面など、今後の委員会の中でその辺も検討していただきたい。

(委員)

新庁舎建設には具体的な数字目標やKPI、行動目標があつた方がいいゴールを目指せると思う。

(委員)

中央公民館の前にEV車の充電設備があるが、それも移動するのか。新庁舎建設後は現在の役場庁舎の北側が一気に何もなくなる。大きい駐車場になるのか、それとも今後何らかの形で利用するのか。

(事務局)

EV車の充電設備についても、外構整備の都合によっては移動の可能性もある。今後は外構計画も検討課題としても出てくるので、その中で今実施している町民アンケートの結果も踏まえながら、建物だけではなく周辺の計画もしていきたいと考えている。

(委員長)

基本計画素案をじっくり見ると、何時間あつても足りないので、ロードマップなどの配付した資料や第6次総合計画などの資料も見ながら、次回に向けて、また意見を準備していただきたい。

## (5) 町民アンケートについて

(事務局)

高島町役場庁舎建設に関する町民アンケートについて説明(資料No.10-1, 10-2)

(委員長)

アンケートの回答期限を6月23日としているが、分析して発表するのはいつになるか。

(事務局)

7月いっぱいをかけて分析し、8月に入ったら各会議において報告させていただく。町民への公表については、町ホームページでは8月中旬から下旬にかけてできるのではないかと考えている。広報は9月号に掲載したいと考えている。

#### (6) 今後の会議の進め方と当面のスケジュールについて

(事務局)

資料No.11、No.12 について説明

(委員)

資料No.12 の第6回会議の中に、構造計画の基本方針とあるが、この素案どおりにいくのではなく、まださらに検討するということか。

(事務局)

新庁舎建設基本計画は、現在は素案である。今後は実際にこの中身でいいのか、あるいは肉付けした方がいいのかということを検討いただきたいと思っているので、この中身でいいということであればそれはそれでけっこうだが、少しくした方がいいのではないかと委員の皆さんの意見があれば、その時にお願いしたい。

(委員)

第3回会議で県内先行地を視察とあるが、具体的にどこを想定しているか。資料の最初の方にあった尾花沢市や白鷹町を視察するということか。

(事務局)

昨年に町職員が視察させていただいた尾花沢市と白鷹町の庁舎は、それぞれ基本理念やコンセプトが非常に明確な庁舎であった。たいへん素晴らしい庁舎を整備されているので検討委員の皆様にもぜひ両市町を視察していただきたいと考えている。ただし、視察はあくまでも先方の都合ありきなので、両市町が難しいのであれば他の市町村も視野に入れて検討していくが、まずは尾花沢市と白鷹町にお願いをする方向で検討を進めたいと考えている。

(委員)

その場合は、どこかに集まって1台で行く形になるか。

(事務局)

マイクロバス1台で行きたいと考えている。

(委員)

庁舎建設にあたって、私的には役場の内部を実際のところあまり見たことがない。住民票を取ったり、そんな手続きの時だけで、他の課がどういうスタイルで仕事しているのか知らないことが多くて、一度現場を見せてほしいというのがある。そこで見て感じる問題点だったり、なぜこういうスタイルでやっているのかということもあるので、現場を知りたいというのが要望である。

(事務局)

現地視察の関係については、ご意見等あればどんどん事務局に言っていただきたい。ここではない別のところも見たいということであれば、1日スケジュールで考えているので、早めに行っていただければ調整可能である。

現在、長井市、米沢市、川西町も新庁舎の建設途中である。建設途中のプロセスも十分出来上がっての



話なので、それらを聞きに行くスタイルでもいいかと思うし、1日で回れるところだったらよいと思う。

また、現在の高島町役場の問題点も見ていただくこともできる。事前に言っていただければ事務局が案内するので申し付けていただきたい。

**(委員長)**

他に質問はないか。

ないのであれば、時間もだいぶ経っているので協議を閉じたいと思う。

それでは議事の進行に皆様のご協力をいただきありがとうございますありがとうございました。

**(事務局)**

次回からは配布している基本計画素案がベースになって検討を進めていく。若干の不明な点にご質問をいただいたが、当座は先ほどのいちばん最後の資料のとおり進めていきたいと考えているので、分からない点にご質問いただいても結構だし、この資料はなんでこういう考えになったのかという問い合わせにも対応できるので、ぜひ事務局の方に申し付けていただきたい。

次第の最後のその他の部分にも記載しているが、次回第2回の検討委員会を7月2日（木）午後7時から開催したいがどうか。

**(全委員)**

異議なし。

**(事務局)**

追って改めて文書にてご案内をさせていただきます。

以上をもって第1回新庁舎建設検討委員会を閉会する。

**閉会** 17時